

Hiroko Nakano Piano Recital 2011

# 中野洋子ピアノリサイタル

ディアローグ —日本の作品による—



## 曲目

- 棚瀬正民 童歌変成Ⅱ-チェロとピアノのために  
間宮芳生 ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第1番  
安生 慶 酒吞童子-ソプラノとピアノのための (詩 花輪莞爾)  
團伊玖磨 フルートとピアノのためのソナタ

## 共演

- 安田謙一郎 (チェロ)  
篠崎功子 (ヴァイオリン)  
前田地香子 (ソプラノ)  
糸井正博 (フルート)

2011年 6月 13日 月 19:00 開演  
曜日 18:30 開場

ルーテル市ヶ谷センター

席 全自由席 4000円 お問い合わせ 中野 jun@tatenogama.com

水墨画/杉本桂山

## ディアローグ — 日本の作品による —



現在までソロリサイタルを軸に、ヴァイオリンとのデュオリサイタルや、気心の知れた音楽仲間との室内楽コンサートなどを継続して行ってまいりましたが、今年は4人の敬愛する演奏家の共演を得て、“ディアローグ”というタイトルで、日本の作品によるリサイタルを企画いたしました。

日本に西洋音楽の芽が育ち始めてからこれだけの年月の間に様々な作品が生まれ、その財産の上に更に自由な才能が開花し、発展しています。しかしながら再演の場が少なければそれらの曲を耳にしたり、親しみを感じたりする機会も少ないわけで、少々残念な気もいたします。

今回は、日本の作品の響きの中に身を置きつつ、音楽の大切な本質でもある「音による対話」—ディアローグ—を皆様にお届けしたいと思います。

### 中野 洋子 (Hiroko NAKANO)

桐朋学園大学ピアノ科卒業後ベルリンに留学。1968年ベルリン国立音楽大学を卒業。奥村洋子、井口秋子、ロタール・プロダック、ゲルハルト・プッヘルトの各氏に師事。学生音楽コンクール中学生の部全国第1位。日本音楽コンクール入選。ベルリンではシュベルト賞を受賞、リサイタルをはじめ、コンチェルトや数々のコンサートに出演し好評を得る。1969年帰国記念リサイタルを開催、以来これまでに東京でのリサイタル25回と各地でのリサイタル、また数多くの音楽家との共演を行ってきた。特にリサイタルでは邦人作品を積極的に取り上げ続け、作曲家達から厚い信頼を寄せられている。2001年にCD『中野洋子の世界Ⅰ・日本の心を見つめて～現代日本のピアノ曲～』、『中野洋子の世界Ⅱ・内面への旅』(ブラームス他)を、2008年にCD『中野洋子の世界Ⅲ・童歌変成』(日本の現代作品)、『中野洋子の世界Ⅳ・愛されない人の歌』(東欧・北欧の現代作品)をリリース。

現在、桐朋学園大学音楽学部及び桐朋学園芸術短期大学講師。

### 共演者紹介



#### 安田謙一郎 (Kenichiro YASUDA)

斎藤秀雄、G.カサド、P.フルニエに師事。1960年第29回毎日音楽コンクール第2位、1966年第34回第1位大賞、海外派遣コンクールで特別表彰を受ける。第3回チャイコフスキー国際コンクール第3位。

1969年～1973年までフルニエ氏のアシスタントとしてチューリッヒの夏季講習会に同行。1974年に小澤征爾指揮サンフランシスコ響と共演。国際的なフェスティバルに参加。1986年より安田弦楽四重奏団メンバーとして、意欲的なコンサート活動を続ける。

日本現代音楽協会会員。日本音楽舞踊会議会員。



#### 前田地香子 (Chikako MAEDA)

東京芸術大学声楽科卒業、同大学院修了。同声会卒業演奏会、読売新人演奏会に出演。東京文化会館新人オーディション合格。第31回フランス音楽コンクール第1位、フランス総領事賞、毎日放送賞、稲畑賞、アリアンスフランセーズ賞受賞。第7回日本声楽コンクール第2位。第7回日仏コンクール第3位。「第9」「メサイア」「戴冠ミサ」等のソリストの他、東京オペラシンガーズ、パッサ・コレギウム・ジャパンの公演に出演。2003年11月日本演奏連盟主催東京文化会館にてリサイタルを開き好評を博す。

現在、フランス歌曲、日本歌曲を中心に多数の演奏会に出演。これまでに板垣卓也、山城美代子、酒井伊吹子、中村浩子、ラジェール・ヤカールの各氏に師事。コンセールC会員。



#### 篠崎功子 (Isako SHINOZAKI)

「ヴァイオリン早教育」で顕著な業績を残した亡父篠崎浩継氏に幼少の頃からヴァイオリンを学び、4歳で初の公開演奏を、13歳で第1回ソロ・リサイタルを行う。

1959年東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学。兎東龍夫氏に師事。1962年桐朋学園大学に入学、ジャンヌ・イスナール、斎藤秀雄の各氏に師事。

1964年「第33回音楽コンクール」ヴァイオリン部門第1位、1966年「バガニーニコンクール」第3位(ジェノバ)。

1975年以来、ソリストとして多くのオーケストラと共演するほか、海外公演歴も豊富で、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア、中国、東南アジア各地で公演するなど多岐な活躍を続けている。

現在、桐朋学園大学音楽学部教授、東京音楽大学非常勤講師。



#### 糸井正博 (Masahiro ITOI)

1969年に東京芸術大学器楽科に入学。1970年東京文化会館新人演奏会に出演。1971年、学内にて安宅賞を受賞。1973年、大学院音楽研究科に進み1975年に修了。1976年第45回日本音楽コンクール管楽器部門第3位に入賞し、同年に新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。その後1980年東京フィルハーモニー交響楽団に移り1997年まで首席フルート奏者を務める。1982年、1985年にリサイタル、1991年に「フルート協奏曲の夕べ」1996年「フルート協奏曲の午後」1998年「フルート協奏曲の午後Ⅱ」2003年に「フルート協奏曲の午後Ⅲ」を催し好評を博した。これまでに吉田雅夫、高橋安治、小泉剛の各氏に師事。

現在、日本フルート協会常任理事。



### 会場のご案内

#### ところ

ルーテル市ヶ谷センター

〒162-0842

東京都新宿区市ヶ谷砂土原町1-1

電話 03-3260-8621

#### 交通

JR	総武線	地上出口	徒歩7分
都営地下鉄	新宿線	A1 出口	徒歩7分
東京メトロ	有楽町線	5、6番出口	徒歩2分
東京メトロ	南北線	5、6番出口	徒歩2分